

## MISIA、JICA-TICADオフィシャルサポーターに アフリカを支援

(12月10日) 独立行政法人国際協力機構 (JICA) は歌手の MISIA (ミーシャ) を JICA-TICAD オフィシャルサポーターに任命したことを発表しました。

同職は2013年6月に横浜市で開催される第5回アフリカ開発会議 (TICAD V) に向けて、日本国内でアフリカへの意識喚起を目的にしたもので、MISIA のこれまでのアフリカの支援活動の実績を評価されての任命となりました。

MISIA はこれまで音楽活動の傍ら、アフリカをはじめとする途上国の支援活動にも熱心に取り組んできました。現在、一般財団法人 mudef を通じて、ケニアのスラム街の奨学支援やマラウイでの蚊帳配布キャンペーンなどを展開しています。

2013年1月には、西アフリカのセネガル共和国を訪問する予定です。

### MISIA コメント

誰かと分かりあう時は、その人を知ることから始まります。  
誰かを愛する時も、その人を知ることから始まります。

私は音楽をきっかけに、アフリカを知りました。  
人の持つパワー、豊かな自然、音楽・伝統・文化の素晴らしさを、  
そして悲しい歴史を、貧困問題を。食べ物や資源を通し、実は  
アフリカと密接に繋がりに生きてきたことを。

全ては、知ることから始まるのだと思います。

TICAD は、アフリカの自立、MDGs 達成に向けて大きな役割を担っています。

是非、沢山の方にアフリカに関心を持っていただきたいです。



©Rhytmedia inc.

### MISIA プロフィール

7月7日長崎県生まれ。

1998年「つつみ込むように…」でデビュー。R&B、ダンスミュージックから、「Everything」「逢いたくていま」などのバラードまで、ジャンルを超えた多くの名作を発表。“アジアの QUEEN OF SOUL”とも称される、その圧倒的な歌唱力とライブパフォーマンスは国内外で高い評価を受けている。

女性ソロシンガーとしては史上初の5大ドームツアーや、アジア5都市 (台湾、上海、シンガポール、ソウル、香港) でのアリーナツアーも敢行。2010年に南アフリカで開催されたワールドカップでは、公式アルバムに「MAWARE MAWARE」が収録され、世界デビューを飾った。

また、活動の舞台は世界にも広がり、社会貢献活動にも積極的に取り組んできた。

2005年に世界的な貧困撲滅キャンペーンにも参加。その後U2のボノに勧められたこともあり、2007年

にケニアを訪問、自身のライブで子どもの支援のためのチャリティグッズの販売や六本木ヒルズでの写真展も開催した。

2008年にはTICAD IV（第4回アフリカ開発会議）を記念して、アフリカや世界の問題についての啓発を目的とするライブ「Africa Benefit Live YOKOHAMA」を開催。ライブにはアフリカのスーパースター、ユッサー・ンドゥールや久保田利伸などが参加した。ライブ翌日にはU2のボノ、ユッサー・ンドゥールらとともに貧困撲滅を訴えるイベントにも参加。その後、これまでにケニアのキベラスラムの子どもの奨学支援を行っているほか、マラウイでの蚊帳配布キャンペーンを実施。またマリの水支援活動や南アフリカのエイズ啓発事業などを視察してきた。

環境問題にも積極的に取り組んでおり、2010年3月には、国連事務総長より「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）名誉大使」に任命される。同会議の公式ソングともなった「LIFE IN HARMONY」は、アメリカの有名プロデューサー、デイヴィッド・フォスターによるプロデュースとなり、同氏にも高く評価されている。

## mundef について

2010年に設立された、財団法人。「音楽とアートが世界をデザインする」ことを目的に、アーティストやスポーツ選手の社会貢献活動をサポート。これまでにMISIAのアフリカ支援活動、生物多様性に関する普及啓発事業、GLAYの東日本大震災の支援事業やサッカーキャンプなど運営してきた。活動の軸を国際社会が2015年までに達成を目的とする「ミレニアム開発目標（MDGs）」に置き、幅広い活動を展開している。

設立以来、MISIAのケニアの支援事業「Project Magoso」やマラウイの蚊帳配布キャンペーン「Love is Free Campaign」を運営している。

## 関連リンク

MISIA公式HP [www.misia.jp](http://www.misia.jp)  
一般財団法人mundef [www.mundef.net](http://www.mundef.net)  
第5回アフリカ開発会議 [www.ticadyokohama.jp/](http://www.ticadyokohama.jp/)

【本件に関するお問い合わせ先】本報道資料はご自由に引用ください。



一般財団法人mundef 事務局（受付時間：10時～18時 土曜日・日曜日・祝日を除く）  
TEL：03-5414-7778 E-MAIL：[info@mundef.net](mailto:info@mundef.net)